

(款) 20衛生費 (項) 15環境対策費 (目) 5環境対策管理費

◎公害対策一般の経費

環境保全事業

【 環境保全課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

生活環境:環境にやさしい省資源・循環型社会を実現しているまち

【事業の目的】

対象 市民及び事業者等

意図 事業活動やその他の人の活動による公害の発生を防止するため。

効果 事業所等を対象に法令等に基づく届出や立ち入り調査により未然に公害を防止し、周辺地域の環境保全を推進する。

【事業の内容】

(1) 環境保全事業

- ・「騒音規制法」、「振動規制法」、「悪臭防止法」、「特定工場における公害防止組織の整備に関する法律」による届出の受理等及び改善指導を行った。
- ・事業所等から発生する公害を防止するため指導や助言を行った。
- ・「鎌倉市環境の状況についての調査及び情報の提供に関する要綱」に基づく環境保全、公害防止のための調査・測定・分析を行った。
- ・深夜花火禁止を図るため、ポスター・ステッカーの掲示、ティッシュペーパーの配布などを行った。
- ・深夜花火特別対策区域に警備員を配置し、巡回警備を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

深夜花火の防止に関する条例の普及(3-3-5-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,798	15,893	12,991		2,902
主な支出内訳				
・ 環境保全事業				
環境保全啓発小冊子等印刷製本費				180
地盤沈下精密水準測量調査委託料				620
自動車排出ガス等環境調査委託料				5,093
深夜花火巡回警備委託料				1,393
深夜花火禁止ポスター等作成委託料				71
河川水質調査委託料				609
有害大気汚染物質分析委託料				315
大気中二酸化窒素濃度調査試料分析等委託料				510
アスベスト分析調査委託料				3,680
主な特定財源				
・ 国県支出金				
				455

環境状況調査

自動車排出ガス等環境調査委託	市内主要幹線道路沿道7地点で年4回 二酸化窒素、浮遊粒子状物質等
地盤沈下精密水準測量調査委託	水準基標15箇所(延長7.55km)の精密水準測量
有害大気汚染物質分析委託	市庁舎屋上で年4回 ベンゼン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、 ジクロロメタン
河川水質調査委託	市内主要8河川の水質について年4回 BOD、CODなど生活環境の保全に関する項目
公害防止対策及び改善指導を行った事案	平成19年度以前からの繰越分25件 平成20年度分20件

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 環境-03 環境保全事業 □支援部門							
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	1316 環境調査事業						
		1316 地盤沈下調査事業						
		1316 県生活環境保全条例事務						
		1306 深夜花火対策事業						
主管課	環境政策課(環境保全課)			関連課	山崎浄化センター、七里ガ浜浄化センター			
分野名	生活環境							
目標 (目標値)	環境基準の達成に努める。公害事案の早期解決。							
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考			
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日			
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯				
運営資源 状 況	決算値	12,991千円	10,732千円	10,713千円				
	(国・県)	455千円	468千円	467千円				
	(負担金等)							
	(一般財源)	12,536千円	10,264千円	10,246千円				
	人員配置数	3.5人	3.5人	3.5人				
	人 件 費	32,494千円	32,464千円	32,666千円				
協働の パートナー	各浄化センター、各調査地 点、各調査測定地点	各浄化センター、各調査地 点、各調査測定地点	各浄化センター、各調査地 点、各調査測定地点	各浄化センター、各調査地 点、各調査測定地点				
事務事業 運営経費	総事業費	45,485千円	43,196千円	43,379千円				
	市民1人当 りの経費	258円	246円	248円				
	対象者1人 当りの経費							
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価								
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※	※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)		
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(25年度)	
環境基準適合率(市内8 河川の水質)	◎	目標値	100%	100%	100%	100%	100%	
		実績値	100%	100%				
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(25年度)	
環境基準適合率(環境騒 音)	◎	目標値	100%	100%	100%	100%	100%	
		実績値	100%	100%				
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(25年度)	
公害苦情処理率	○	目標値	100%	100%	100%	100%	100%	
		実績値	45%	73%				
指 標	評価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度(年度)	
		目標値						
		実績値						
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している								
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)								
団体名								

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ①深夜花火の防止について、周知、啓発、取組について地元住民から様々な意見・要望が寄せられ対応を充実させる必要があった。 ②市民から寄せられる環境保全に関する苦情については、騒音や野焼きによる悪臭、河川の白濁等多岐に渡っており、特に個人の行為に起因する場合には、協力依頼の対応にとどまざるを得ないことから、解決にも時間を要している。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ①深夜花火防止については、特別対策区域内の巡回警備期間を7月・8月の62日間行うとともに、前年同様に雨天中止としていた日の警備を9月に振り替え実施し、充実を図った。 ②事業所への苦情については、毎月実施している公害パトロールで現状を確認して指導を行っている。個人への苦情については、当課で事情を伺うとともに、解決が困難な場合には、市民相談課や神奈川県公害等調整委員会へ問題解決の引継を行った。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ②事業所への苦情については、騒音・悪臭等の感じ方に個人差があり早期の解決が難しい場合がある。個人への苦情については、直接法令による規制ができない例が多い。
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ②事業所への苦情に対しては、早期の解決ができるよう対応を検討していく。個人への苦情の対応については、法令に基づく指導等の対象とならない場合が多いため他市の対応例などの情報を収集して適切に対応していく。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 無
	公害関係等の対応については、様々なケースを研究する中で、苦情の早期解決に努める。				
担当課長氏名:		環境保全課長 比連崎 勝			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 無
	環境保全(公害対策)については、市民のニーズにあった対応を心がけ、苦情の早期解決に努めます。				
担当部名	環境部	部長名	勝山 洋		